

緑の相談所だより

No. 120

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 電話 0166-65-5553

発行:平成 21 年 10 月 1 日

講習会のご案内

「庭木の冬囲い」実習

と き 平成 21 年 10 月 24 日(土)
PM 1:30~3:30 定員 20 名
講 師 協会職員
場 所 永山中央公園パークセンター

「庭木の冬囲い」実習

と き 平成 21 年 10 月 25 日(日)
PM 1:30~3:30 定員 20 名
講 師 協会職員
場 所 緑の相談所



「楽しいガーデニング」実習

-腐葉土を作ろう-
と き 平成 21 年 10 月 31 日(土)
PM 1:30~3:30 定員 30 名
講 師 相談員 芝山 一雄

「ブドウの剪定」(リンゴ、ナシほか)

-おいしいブドウを作ろう-
と き 平成 21 年 11 月 1 日(日)
PM 1:30~3:30 定員 50 名
講 師 ふじくらますも果樹園
代表 増茂 聡さん

「押し花年賀状を作ろう」実習

と き 平成 21 年 11 月 15 日(日)
PM 1:30~ 3:30 定員 20 名
講 師 つくしんぼ代表 加藤 迪子さん
教材費 500 円

「クリスマスからお正月の寄せ植え」実習

と き 平成 21 年 12 月 6 日(日)
PM 1:30~ 3:30 定員 20 名
講 師 フラワーマスター 山本 裕美さん
教材費 2,000 円



展示会のご案内

「温室の植物写真展」出展:道新文化センター写真教室
平成 21 年 10 月 1 日~25 日
「木の実・草の実写真展」出展:神田亘雄さん
平成 21 年 11 月 3 日~30 日

「公園絵画展」出展:市内の小中学生
平成 21 年 10 月 27 日~11 月 1 日
「神楽岡公園のキタツネ写真展」出展:井原久夫さん
平成 21 年 12 月 1 日~27 日

- ・展示会の初日は準備のため、ご観覧は午後からです。
- ・4 月から 10 月は第 2・4 月曜日が休館日です。
- ・11 月から 3 月は毎週月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

※講習会は予約が必要です
(0166) 65-5553

10月の園芸作業

1 鉢花・草花・球根類

クンシランは花芽形成促進のために肥料を止め、水やりも控えて10℃位の低温に約60日間当てましょう。

アマリリス、カラー、球根ベゴニア等は低温で管理し、水やりを中止して、葉が落ち自然に枯れてきたら鉢ごと休眠させましょう。

ダリア、グラジオラス、カンナ等は軽い霜に当ててから掘り上げ、ダリア、カンナは7～8℃程度の低温の場所にグラジオラスは乾燥し凍結しない場所で貯蔵しましょう。

ポインセチア、シャコバサボテンは短日処理を行い、クリスマスの頃に開花させましょう。

プランター等に植えているベゴニア、インパチェンス、コリウス、ゼラニウム等の非耐寒性草花は霜が降りる前に鉢上げして入室しましょう。

シャクヤクは株分けや植替えの時期です。1株に3～4芽を付けて切り分け、殺菌剤に20～30分浸けて消毒しましょう。

2 庭木類

落葉後カンバ類、カエデは太い枝を試し切りして1日置いて樹液が出なければ剪定しましょう。

マツ等の高木は枝つり（雪つり）、落葉の進んだ花木等の低木は結束、支柱立てを始めましょう。

バラは1～2℃の霜に当たっても葉を落とさないの、芽を傷めないように注意して葉を落とし、病害虫の防除に努めましょう。

3 洋ラン類

シンビジウムは蕾が目立ってくる時期です。室内に入れた鉢は日当たりが良く最低気温10℃以下、日中の温度が20℃以上にならない場所で管理しましょう。

カトレア類の秋咲き種は最低12～15℃に保ちましょう。冬咲き、春咲き種のシースの発生した株は休眠期を経て開花に進むため、水を控え最低気温12～15℃で最高25℃以上にならないよう注意し湿度を保つ工夫をしましょう。

デンドロビウム・ノビル系は戸外で霜を避けながら管理し、気温が5℃位に下がったら入室します。バルブが肥大し黄色味を帯び始め、花芽分化へと進みますので、気温は10～18℃位に保ち、日当たりのよい窓辺に置き、水は控えましょう。

11月の園芸作業

1 鉢花・草花・球根類

シクラメン、エラチオールベゴニア等、開花中の鉢は日当たりの良い場所に置き、液体肥料を与え、特にシクラメンは夜温が高いと花が早く終わるので15℃以下の場所に移しましょう。

晩生のユリの植替え、植込みの時期です。一度植込んだチューリップ等は根が伸びているため植替えは出来ません。

クジャクサボテン、カネノナルキの仲間は入室後は水を控え、5～10℃位で人工照明の当たらない所に置いて休眠させましょう。

インドゴムノキ、パキラ、ベンジャミナ等の観葉植物は室内の窓越しに置き日を当て、水の与え過ぎに注意しましょう。アナナス類は気温が低い所では株の中心に水を溜めないようにしましょう。

アザレアは花芽準備期です。低温にしっかり合わせ肥料は控え、日当たりの良い場所に置きましょう。

2 庭木類

フジは上旬までに今年伸びた枝（つる）3～4（5）節の所を剪定しましょう。

ボケも大きな花芽の先に小さな花芽を1～2つけて剪定しましょう。

高枝つり、花木類の結束を済ませましょう。ただし、早くコモや防風網で囲うと蒸れる心配がありますので、落葉してからにしましょう。

3 洋ラン類

シンビジウムは花茎の伸長期です。温度は15℃前後の明るい場所に置き、20℃以上にしない。高温は蕾の黄化、落蕾の原因となりますので注意しましょう。

カトレアの開花中の株はやや低温で管理すると長持ちします。温度は25℃以上にならないように注意しましょう。

一般のデンドロビウム・ノビル系はバルブの充実期の後半である花芽分化の前段にあたります。日中は日の当たる場所に置き、しっかり低温に合わせましょう。日中温度20℃以上を越えないように換気に努め夜間7～10℃の低温で管理することで花芽分化に繋がります。

コチョウランは室内温度18℃に保てれば水は乾いたら与えその都度薄い液体肥料を与えても良いでしょう。

植物の病害虫

その6 「ナガチャコガネ」

イチイ、マツ類、ツツジ、シャクナゲ、カエデ類など多くの庭木の根を幼虫が食害します。特にイチイにその被害がもっとも顕著に表れます。

○ 被害状況

幼虫が細根を食害することによって樹勢が衰弱します。春先、樹木の芽が膨らみ始めるころ、新芽がでない、葉色が退色して落ちる、枝が枯れることなどがあります。もう一つの特徴は、数本並んだうちの1本だけが枯れ、隣の木に移ることはあまりないようです。

○ 形態

成虫：体型は長円形で、体長が11～14mm、赤褐色で光沢があります。

幼虫：3齢(終齢)幼虫の体長は20～23mmです。

(齢：卵から孵化したものが1齢。その後、脱皮するごとに2齢、3齢となります。ナガチャコガネの脱皮は2回ですので3齢(終齢)で終わりです。)

○ 生態(生活史)

年に1回発生します。3齢幼虫で、地中深部(20～30cm)で越冬し、春、気温の上昇に伴い浅部に移動し根を食害します。6～7月に蛹を経て成虫となり、地上に出て地表近くを飛び交い、交尾をした後地中に産卵し、2～3週間でふ化した幼虫は根を食害しながら2回脱皮して、10～11月に3齢幼虫となって地中深部で休眠越冬します。

幼虫は土中で生活し、成虫も日中は土中にいるため人目につくことが少なく、さらに、前年秋からの3齢幼虫の食害によって被害が発生するため、かなり被害が出るまで気が付かないことが多いので注意が必要です。

土壌深度	1月～4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～12月
地下 0～10cm			蛹→羽化→成虫 →交尾→産卵		孵化→1 齢幼虫 根食害		
地下 11～20cm		3 齢幼虫 根食害				脱皮 2 齢幼虫 根食害	
地下 21～30cm	越 冬						脱皮 3 齢幼虫で越冬

○ 防 除

6月下旬～7月上旬の温暖な日の夕方、羽化した幼虫が多数出現することがありますので、この時期に集中的に捕殺し、できるだけ生存密度を下げるようにしましょう。

6月下旬～7月上旬の成虫活動期と7月上旬～8月上旬の幼虫若齢期で地中浅部に生息している時期に薬剤を散布しましょう。

薬剤散布は、降雨の後など地面が湿っている時に行うと効果的です。被害樹を中心に、広い範囲に散布しましょう。

秋を彩る木々の葉

10月に入ると神楽岡公園にも紅葉の季節がやって来ます。それが際立って見られる所は広葉樹園やその周辺ではないだろうか。その彩りをそえる木の葉を見よう。

1. 赤く色づくもの

ヤマモミジ



オオモミジ



イロハモミジ



ハウチワカエデ



エゾヤマザクラ (オオヤマザクラ)

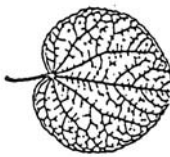


ナナカマド



2. 黄色に色づくもの

カツラ



シラカンバ



アカイタヤ



イタヤカエデ



イチョウ



展示室の植物たち (27)

ハエマンツス (和名 マユハケオト) ヒガンバナ科ハエマンツス属

植物展示室の入り口の右側に幅の広い葉を展開し、白いマユハケを思わせる花が今咲いています。熱帯アフリカから南アフリカに21種分布する植物の一つです。

